神奈川県立金井高等学校同窓会
定　期　総　会　次　第

日　時：　令和８年 10 月４日（日）午前 10 時 30 分～

場　所：　金井高等学校２階会議室

議　事：　議長選任

第１号議案　50 周年記念事業報告

第２号議案　令和７年度事業報告

第３号議案　令和７年度会計報告

第４号議案　令和８年度事業計画

第５号議案　令和８年度予算案

第６号議案　学校統合に伴う同窓会の存続可否に関する
役員会原案提示について

議長解任

終了後、役員改選

※同窓会の事業年度は８月１日から翌年７月 31 日までです。

第１号議案・50 周年記念事業報告

※別冊子資料参照

第２号議案・令和７年度事業報告

令和７年度の同窓会事業については次の通り。

1. 活動記録　　**※一部は前年度総会資料と重複します。**

8 月　1 日(金)　横浜リハビリテーション専門学校訪問（森）
8 月　9 日(土)　会報ＷＥＢ版第８号発行
8 月 15 日(金)　会報ＷＥＢ版第９号発行
8 月 19 日(火)　金井高校写真部とコラボ企画の作業（森）
8 月 21 日(木)　タウンニュース社打合せ（森）
8 月 29 日(金)　サッカー遠藤航選手エージェントと打合せ（森、金井高校教諭同行）
9 月　1 日(月)　エフエム戸塚「おはよう！咲くらじお」に出演、クラウドファンディング及び週末の金井祭について告知（森）
9 月　4 日(木)　吹奏楽部東関東大会出場壮行会に出席、部活動支援金を支給（森）
地域タウン誌「はまかぜ」取材対応（森）
50 周年実行委員会総会出席（森、白井、神保）
9 月　5 日(金)　金井祭準備（森、白井）
9 月　6 日(土)　金井祭参加。ＰＴＡ本部と連携して、「金井祭歴代ポスター展」及びクラウドファンディング寄付者向け校歌ＣＤプレゼントを実施
（森、長谷部、小島）
金井高校学校運営協議会出席（森）
9 月 15 日(月)　同窓会定期総会
9 月 14 日(日)　「わたしの店・会社」第２弾をホームページに掲載
9 月 15 日(月)　定期総会
9 月 25 日(木)　タウンニュース社と 50 周年特別号について打合せ(森)
9 月 26 日(金)　神奈川県教育委員会、舞岡高校との統合計画を発表
9 月 29 日(月)　内山佳子さんによる放送部リモートレッスン取材(森)
9 月 30 日(火)　統合発表後の対応について笠原校長、髙杉 PTA 会長と協議(森)
10 月 11 日(土)　クラウドファンディング継続を決定、告知
10 月 15 日(水)　タウンニュース特別号取材(森)
統合発表に伴うタウンニュース特別号編集方針変更について打合せ(森)
10 月 19 日(日)　統合発表と今後の方針に関する会長コメントをホームページで公開
10 月 21 日(火)　住友電気工業㈱訪問(森)
鶴ケ岡会館祝賀会下見(森)
10 月 26 日(日)　会報ＷＥＢ版第 10 号発行
10 月 28 日(火)　遠藤航選手スパイクのサッカー部お披露目会(森)
鶴ケ岡会館祝賀会最終打合せ(森、白井)

10月 30日(木)　金井高校創立50周年式典(鎌倉芸術館)出席(役員一同)、祝辞(森)
　　同　　祝賀会(鶴ケ岡会館)主催(役員一同)
11月 19日(水)　クラウドファンディングサイトリニューアル、期間延長を発表
11月 20日(木)　金井高校管理職と打合せ(森)
11月 21日(金)　タウンニュース金井高校50周年特別号発行
11月 23日(日)　同窓会公式LINEの機能拡充
11月 24日(月)　サッカー部OB会取材(森)
11月 26日(水)　50周年実行委員会総会(森、白井)
12月　5日(金)　タウンニュース金井高校50周年特別号を全会員に発送
　　金井高校グラウンド夜間照明設備設置工事完了
12月 10日(水)　25期塚本寛之さんを同窓会役員・庶務に任命
12月 12日(金)　会報ＷＥＢ版第11号発行
12月 18日(木)　旧職員・原木先生、金井高校ご訪問対応(森)
12月 22日(月)　会報ＷＥＢ版第11号内容更新
12月 25日(木)　舞岡高校同窓会と打合せ(森、塚本)
12月 31日(水)　クラウドファンディング最終日、第一目標を達成
1月　8日(木)　会費対応(森、白井)
1月 12日(月)　会報ＷＥＢ版第12号発行
2月 11日(水)　「個人情報取扱いについて」改訂
2月 20日(金)　創立50周年記念誌完成
2月 21日(土)　会報ＷＥＢ版第13号発行
3月　2日(月)　金井高校卒業式出席・祝辞(森)
3月　6日(金)　クラウドファンディング返礼・50周年記念誌発送
　　第3回学校運営協議会出席(森)
3月　9日(月)　金井高校中庭整備工事開始
3月 10日(火)　クラウドファンディング返礼・寄付者一覧公開
3月 13日(金)　金井高校中庭整備工事完了
3月 24日(火)　クラウドファンディング返礼・遠藤選手スパイク抽選会(森、白井)
　　会報ＷＥＢ版第14号発行
4月　1日(水)　３月末で金井高校を離任された先生方を詳報
4月　2日(木)　金井高校管理職と新年度打合せ
　　新規卒業生の同窓会入会および会費等徴収に関する依頼文書手渡し
4月　7日(火)　金井高校入学式出席・祝辞(森)
5月 22日(金)　50周年実行委員会会計監査(森、神保)
　　会報ＷＥＢ版第15号発行
5月 29日(金)　令和８年度第１回学校運営協議会出席(森)
6月　4日(木)　陸上競技部南関東大会壮行会、部活動支援金を支給(森)
6月　5日(金)　金井高校体育祭取材(森)

6月 11日(木)　サッカー遠藤航選手応援横断幕を金井高校に寄贈、掲出
6月 27日(土)　会報ＷＥＢ版第16号発行
7月　3日(金)　50周年実行委員会総会事前打合せ(森)
7月 10日(金)　会報ＷＥＢ版第17号（母校50周年記念事業報告）発行
7月 13日(月)　陸上競技部・放送部の全国大会出場に部活動支援金を支給(森)
50周年実行委員会総会事前打合せ(森)
7月 22日(水)　50周年実行委員会総会(森、小島、白井、神保、石井)

≪以下、次年度のため参考≫

8月　7日(金)　旧職員・三浦智子先生個展取材(森)
8月 22日(土)　吹奏楽部定期演奏会取材(森)
8月 28日(金)　吹奏楽部東関東大会壮行会、部活動支援金を支給(森)
9月 11日(金)　同窓会会計打合せ(森、白井)
9月 26日(土)　金井祭第1日(森、長谷部、白井、神保、石井、塚本、土部*)
9月 27日(日)　金井祭第2日(森、長谷部、神保、塚本、土部*、櫻井*)＊ボランティア参加
9月 28日(月)　陸上競技部全国大会及び関東大会壮行会、部活動支援金を支給(森)
10月　4日(日)　**定期総会【本日】**

2.　事業内容　　**※50周年記念事業については、第１号議案をご参照ください（一部重複あり）。**

（ア）会員情報管理の委託業者㈱同窓会事務局との契約形態を見直し、年間定額契約とした。
従前、個別発注だった情報入力などをまとめて、年間定額の包括契約とすることにより、これらに関する年間経費の低減を実現するとともに、メール配信による情報提供を可能にするため、管理を委託する情報の項目にメールアドレスを追加した。

（イ）同窓会報ＷＥＢ版第８号～第17号発行
同窓会報ＷＥＢ版の発行を引き続き行った。今年度は50周年に関わる記事を多く掲載するとともに、母校の現役生徒及び教職員、保護者への周知も行った。

（ウ）「わたしの店・会社」企画
企画第２弾として戸塚町の珈琲店を掲載した。その後、掲載希望の連絡が無いため、引き続き企画の周知を行う必要がある。

（エ）公式ホームページ上にお問い合わせフォームの運用を継続
公式ホームページの「お問い合わせ・住所変更等入力フォーム」の運用を継続。これに対して、住所変更届をはじめ、日常の問い合わせなども多く寄せられ、同窓会の運営上、有効に機能した。

（オ）同窓会公式ＳＮＳの運用
① 公式Facebook、公式Instagram、公式X(旧Twitter)、公式LINEについて、それぞれの特性に応じた運用を行い、同窓会活動、母校行事、母校生徒の活躍などの告知、報告などを行った。いずれも閲覧数、フォロワー数などが大きく増加している。
② 公式LINEについて定額有料プランを導入し、月間5,000通の配信が可能となり、他のＳＮＳと同様の情報発信をおこなった

（カ）「タウンニュース金井高校50周年特別号」の発行委託及び配付・発送

金井高校の協力を得てタウンニュース社に編集・発行を委託した「タウンニュース金井高校 50 周年特別号」が、横浜市栄区・戸塚区に新聞折込で配付されたのをはじめ、全校生徒・職員にも配付された。また、同窓会員向けには、同窓会報第 16 号の発行に代えて全会員に発送した。これにより、50 周年の様子をいち早く会員の皆さんに伝えることができたとともに、地域の皆さんに金井高校のことを伝える良い機会となった。

（キ）紙版同窓会報第 16 号の発行中止

同窓会報第 16 号の発行を「タウンニュース金井高校 50 周年特別号」の発送に代えたことにより、今後の活動方針などについての会員への周知が不十分となったため、次年度以降、同窓会報以外の方法での周知を行う必要が生じた。

（ク）金井祭への参加

ＰＴＡ本部企画との共催の形で、金井祭の歴代ポスター展を実施、また、クラウドファンディング連携企画として、校歌ＣＤプレゼントを実施した。

（ケ）49 期卒業生の入会

令和 8 年 3 月の母校 49 期生の卒業に伴い、会長が卒業式で祝辞を述べるとともに、入会手続き及びそのデータ処理を行った(307 名入会)。なお、今回より入会届にメールアドレス記入欄を追加した。

（コ）部活動支援金の支給

金井高校生徒の活躍に伴い、以下の通り部活動支援金の支給を行った。

① 吹奏楽部	東関東吹奏楽コンクール	29 名	50,000 円
② 陸上競技部	関東高等学校選抜新人陸上競技大会	1 名	5,000 円
③ 陸上競技部	U18 陸上競技大会	1 名	10,000 円
④ 個人	全国高等学校ボウリング選手権大会	1 名	10,000 円
⑤ 陸上競技部	関東高等学校陸上競技大会	4 名	20,000 円
⑥ 放送部	NHK 杯全国高校放送コンテスト	1 名	10,000 円
⑦ 陸上競技部	全国高等学校総合体育大会陸上競技大会	3 名	30,000 円

（サ）「個人情報取扱いについて」を改訂

㈱同窓会事務局との包括契約締結に伴ってメールアドレスの登録を開始することに合わせ、扱う個人情報にメールアドレスを追加する改訂をおこなった。

（シ）母校との連携

前年度に引き続き、森会長が金井高校・学校運営協議会の委員を委嘱され、地域内の大学・専門学校、小学校、町内会長や、ＰＴＡ会長の皆さんと共に、金井高校の学校運営に参画し、学校目標の設定や学校評価などの活動をおこなった。

また、50 周年実行委員会では、同窓会長が委員長を務めたほか、記念事業、記念誌、祝賀会の各部会に役員各 1 名が参加し、学校やＰＴＡとの緊密な連携を図った。

（ス）会費・賛助金の徴収中止

50 周年記念事業のうち、中庭整備事業のクラウドファンディングを行うにあたって、資金の分散を避けるため、当該年度の会費・賛助金の徴収をおこなわず、その分、クラウドファンディングへの参加を促すこととした。

第３号議案・令和７年度会計報告

神奈川県立金井高等学校同窓会

2025(R7)年度　会計報告

2025年(R7)8月1日～2026年(R8)7月31日

科　目	予算(円)	決算(円)	増減(円)	科　目	予算(円)	決算(円)	増減(円)
Ⅰ　収入の部				Ⅱ　支出の部			
1　繰越金	5,365,862	5,365,862	0	1　事務連絡費	5,000	1,700	3,300
2　入会金	600,000	614,000	14,000	2　情報管理費	350,000	88,000	262,000
3　会費	600,000	325,841	(274,159)	3　HP・SNS管理費	310,000	49,500	260,500
4　協力金	10,000	0	(10,000)	4　会報発行費	4,500,000	2,542,802	1,957,198
5　50周年事業寄付金	2,500,000	2,647,512	147,512	5　消耗品費	10,000	0	10,000
6　利息	5,000	9,632	4,632	6　会議費	2,000	0	2,000
7　雑収入	0	0	0	7　慶弔費	5,000	0	5,000
				8　部活動支援費	200,000	135,000	65,000
				9　50周年記念事業費	500,000	584,588	(84,588)
				10　雑費	11,000	8,090	2,910
				11　予備費	120,000	18,150	101,850
収入合計A	9,080,862	8,962,847	(118,015)	支出合計B	6,013,000	3,427,830	2,585,170
				次期繰り越しA-B		5,535,017	

今年度入会卒業48期生 307名

繰越金現在高明細

区　分	金　額(円)	適　用
現金	0	手元有高
普通預金	2,934,996	三井住友銀行　藤沢支店
定期預金	2,600,021	三井住友銀行　藤沢支店
合計	5,535,017	

以上の通り報告いたします。

2026年9月26日　　会計　　白井　忍

上記の収支計算書は、適正に表示しているものと認める。

会計監査　神保真由美

会長　藤　[illegible]

※人名及び印影については、ぼかしを入れてあります。

※情報管理費及びＨＰ・ＳＮＳ管理費のうち業者委託分については、業者からの今年度分請求書が未着であったため支払いがありませんでした。

第４号議案・令和８年度事業計画

【基本方針】2031 年度の舞岡高校との統合に至る５年間の活動を視野に活動していく。

1. ホームページにおける情報発信と収集
   (ア) 引き続き同窓会報ＷＥＢ版の発行により、同窓生・旧職員のインタビューや、同期会・クラス会やＯＢ・ＯＧ会などの記事、職員の消息情報など、広く会員の関心の高いコンテンツを展開することにより、一般会員の同窓会活動への関心を高める。
   (イ) 「わたしの店・会社」企画の周知を図り、掲載店等の拡大を目指す。
   (ウ) メールアドレスの登録を推奨、推進する。
   (エ) ホームページ及び各ＳＮＳによる情報提供を、特性を生かした形で引き続き行う。
2. 郵送による会員への情報発信
   次の各項目を周知するため、ハガキ等の安価な形態(予算約 170 万円)での郵送により、会員への情報発信を行う。今年度限りの実施を前提とするが、各会員への周知状況により、役員会の判断によりさらに実施することもあり得る。
   (ア) 第６号議案に関する意見募集
   (イ) 郵送による紙版の同窓会報の廃止及び会費等徴収方法の変更
   (ウ) ＷＥＢ版同窓会報の紹介とＨＰ・各ＳＮＳへの案内
   (エ) メールアドレス登録の案内
3. 金井祭への参加
   (ア) 前年度の試行を踏まえて、金井祭来場の同窓生・旧職員の出会いと交流の場としての「同窓会ステーション」企画を実施する。
   (イ) 募集停止に伴う 2029 年度からのクラス数減に伴い、空き教室を活用した同窓生による出展企画について検討及び参加呼びかけを随時行っていく。
4. 入会事務・会員情報管理
   (ア) 引き続き例年同様の方法で行う。入会書類に同窓会ホームページ、各ＳＮＳの紹介を新たに掲載し、入会時の登録増加を図る。また、入会手続きのオンライン化を検討する。
   (イ) ホームページ上の住所等変更連絡フォームは有効に機能しているため、引き続き活用する。なお、第６号議案実施に伴い、多くの入力がある場合に備え、一時的に有料の月間受信件数制限の増加を検討する。
5. 部活動支援金
   (ア) 前年度事業計画で制度の廃止を含めて検討するとしていたが、2031 年度の舞岡高校との統合が決定したことから、2030 年度まで引き続き例年同様の方法で行う。
   (イ) 大きな大会等で学校から資金援助の要請があった場合、規定額を超える分の本会計からの支出は行わず、クラウドファンディングによる協力などを検討する。
6. 会費・賛助金について
   (ア) 年会費・賛助金徴収について、郵便振替用紙郵送方式の廃止に伴い、同窓会ＨＰ及びＳＮＳによる納入案内及び登録メールアドレスによる個別案内を試行する。特に今年度については、初年度のためはがきによる案内も併せておこなう。

神奈川県立金井高等学校同窓会

2026年度　収支予算書

2026年(R8)8月１日から2027年(R9)7月31日

科　目	金　額(円)	科　目	金　額(円)
Ⅰ　収入の部		Ⅱ　支出の部	
1　前年度繰越金	5,535,017	1　事務連絡費	1,750,000
2　入会金	700,000	2　情報管理費	220,000
3　会費・協力金	550,000	3　HP・SNS管理費	310,000
4　利息	9,000	4　会報発行費	0
5　雑収入	0	5　消耗品費	10,000
		6　会議費	2,000
		7　慶弔費	5,000
		8　部活動支援費	200,000
		9　雑費	11,000
		10　予備費	100,000
収入合計　　A	6,794,017	支出合計　　B	2,608,000
		次期繰り越し予定額　A－B	4,186,017

収入3　前年度までの「会費」、「協力金」を統合して「会費・協力金」とした
支出4　紙媒体での会報発行は前回総会にて2026年度以降は廃止と決定済み
支出2及び3　業者未請求の前年度分を加味した

第６号議案・学校統合に伴う同窓会の存続可否に関する役員会原案提示について

《今回の提案内容》

1. 2031 年度の金井高校と舞岡高校の統合後の本同窓会の存続の可否について、下記の役員会原案について、年内をめどに会員の意見を集約する。
2. 意見集約の結果を踏まえて、必要があれば役員会で修正を加えた上で成案とし、臨時総会を開いて決定する。
3. 決定内容に基づき、2030 年度までの活動方針を策定するとともに、必要に応じて規約の改正等をおこなっていく。

1. について

本案が承認されれば、下記の原案を同窓会 HP 及び SNS で公表するとともに、ハガキによる全会員への周知をおこない、HP のフォーム等を利用して意見の集約を行う。

2. について

役員会原案の修正の必要が生じた場合は、随時、元となった意見と共に修正案を提示し、役員会で成案とする判断をした時点で臨時総会の日程等を決定して会員に告知する。

3. について

次年度以降、2030 年度までの活動内容については、2031 年 4 月以降の活動予定への継続性が重要になるため、2．の決定を待って活動方針を策定するものとする。同様に、2031 年度以降の活動に即した規約の改正を行う。

役員会原案

（ア）母校の統合後も「神奈川県立金井高等学校同窓会」として存続し、単独での活動を継続する。

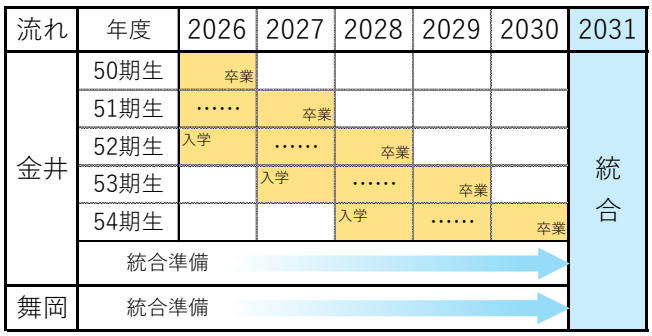
（イ）舞岡高校同窓会との合流や統合後の新校同窓会への移行はしないが、金井高校の流れをくむ学校としての統合後の新校への協力は惜しまない。

（ウ）統合後は新規卒業生の加入が無くなり、高齢化が進行していくため、5 年ごとに活動方針や活動内容の見直しを行い、最終的には解散も含めて検討する。

原案決定の理由

（ア）について

① 舞岡高校との統合は、金井高校のみ 2029 年度入試から生徒募集を停止し、2030 年度末の金井高校最後の学年となる第 54 期生の卒業後におこなわれるもので、金井高校に入学・卒業した生徒には、統合後の新校とのかかわりが無い。



② 同様に、金井高校の職員も統合後の新校に通常の転勤と同程度の数名の異動は考えられるものの、基本的に新校との人的なつながりはないものと考えられる。

③ 同様の理由から、部活動についても新校に移行するわけではなく、人的なつながりは期待できない。

④ 一方で、校舎の活用校である舞岡高校は、2029 年度入学生の 3 学年進級時に新校となり、統合後の新校には、人的には舞岡高校の生徒・職員がそのまま移行することになる。このため、舞岡高校同窓会と合流して新校同窓会に移行した場合、その活動は年数の進行に伴って、舞岡高校と新校の卒業生が中心のものになっていくことが予想され、“金井高校の卒業生の組織”という機能が失われる可能性が高い。

（イ）について

① 統合後の新校は、カリキュラムをはじめとする金井高校と舞岡高校の特色が生かされることになる。こういった面では、金井高校の流れをくむ学校であると言える。

② 金井高校の 50 周年事業で整備された中庭の芝生やグラウンドの夜間照明設備が新校に移植・移設されるほか、金井高校の歴史の刻まれた様々な物品の保管場所が確保されることになっており、物的な面でのつながりは保たれる。また、統合後、校舎を含めた金井高校の跡地は、売却あるいは県の他の施設としての活用が決定するまでは、新校の管理となる。

③ 以上から、人的な面とは別に、統合後の新校が金井高校の歴史を引き継ぐ学校となることから、卒業生による部活動指導や進路関係での卒業生の講演協力など、人的な面で協力できることは協力していきたい。

（ウ）について

① 単独で活動を継続する場合、会員全体の高齢化により、最終的には解散せざるを得なくなるのは確実であり、定期的に次の 2 点を主眼とした継続可能性の検討が必要であると考えた。

② 新規卒業生の卒業時に徴収している入会金及び初年度会費（計 3,000 円/人）は、同窓会会計の安定した定期収入であり、この収入が途絶えることから、統合後は、貯蓄と既存会員の年会費・賛助金収入のみでの運営となる。年間の運営費用は概ね 60 万円前後であり、当面は貯蓄との併用で運営可能だが、これに見合う安定収入を確保することが存続の条件となる。

③ 財源豊富で専門の職員もいる私立学校や公立伝統校の同窓会とは異なり、同窓会の運営は少数の役員の活動により支えられている。現在は役員の半数以上が創立期（1 期～4 期）の卒業生であり、今後は、世代交代をしながら引き継いでいく必要がある。その任にあたる役員が確保し続けられることも存続の条件である。

※舞岡高校同窓会の方針は未定であり、今後、合流を依頼される可能性もあるが、今回の提案を提示した上で、連絡を取り合い、もし合流依頼があった場合は、その時点での状況により考慮するかどうかを検討していくものとする。